

新型コロナウイルス4回目のワクチン接種

4回目の接種が始まっています

新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種は、3回目の接種から5か月経過した人が受けることができます。該当者には大村市から接種券が送られて来ますので、市が指定している医療機関か集団接種会場に申し込んでください。

3回目の接種を受けていない方も3回目の接種券を提出することで個別接種医療機関で受けることが可能です。接種を行っているところに相談してください。まだ3回目が進んでいない方はこの機会にぜひ接種を行ってください。

重症化予防が目的

対象者は、60歳以上・基礎疾患を有する18歳から59歳の人

4回目の接種の対象者は、60歳以上の方、18歳から59歳までの基礎疾患を有する方、肥満（BMI30以上）の方となります。今回の接種は、感染による重症化を予防することを大きな目的としています。現在流行しているオミクロン株は比較的重症化が少なく、特に若い人たちにおいてはその傾向が強く認められています。しかし、感染者が増えれば一定の割合で重症者も増えます。高齢者や基礎疾患のある家族にうつる可能性も増えこれまでの流行の様な重症者の増加による医療崩壊につながる可能性があります。こうした理由から、今回は特に重症化する恐れのある人が対象となりました。

60歳以上には接種券を送付

59歳以下の対象者は申請が必要

60歳以上で3回目の接種が終わっている人は、5か月経つ頃に大村市から申請することなく接種券が送られます。

18歳から59歳で基礎疾患を持つ人の場合は、本人または代理人の方による大村市へ申請が必要です。

接種すべきかどうかは、かかりつけ医と相談して判断するといでしょう。

感染再拡大！！

感染予防は個人の判断が大切

オミクロン株の新しい派生種が発生し感染の再拡大が起きています。感染対策を緩めることはできません。

暑い季節を迎え、熱中症予防としてマスク着用の基準が緩和されました。屋外で他者と距離が離れている場面やほとんど会話がないうち、屋内であっても換気の良い場所で会話がないうち場合にはマスクを外して構いません。

政府は今までの様な強制的な行動制限は行わない方針ですが、各自が感染しやすい場所、感染しやすい行動をしっかりと認識した上での感染対策が重要となります。



☆ 萱瀬ダム



【医心伝心】



大村市医師会は5月30日の大村市医師会総会で今期の役員が承認されました。会長、副会長、理事の交代はありませんが、気分も新たに次の2年間も市民の皆様の健康のため務めて参ります。

医師会だよりも紙面を変更し、これからも役立つ医療情報を提供しますのでぜひお読みください。



看護師への復職を考えている方へ
”あなたの笑顔が必要です！”

潜在看護師の復職支援研修を行っています。
大村市医師会にご相談ください。